

2018年4月18日

各 位

大阪中小企業投資育成株式会社
代表取締役社長 齋藤 浩
(大阪市北区中之島3-3-23)

投資先企業景況アンケート結果の発表

下記の通り、当社投資先企業に対して景況アンケートを実施いたしました。

結果については次頁以下をご覧ください。

調 査 時 点 : 2018年3月中旬

調査対象先 : 当社投資先企業977社

回 答 数 : 599社

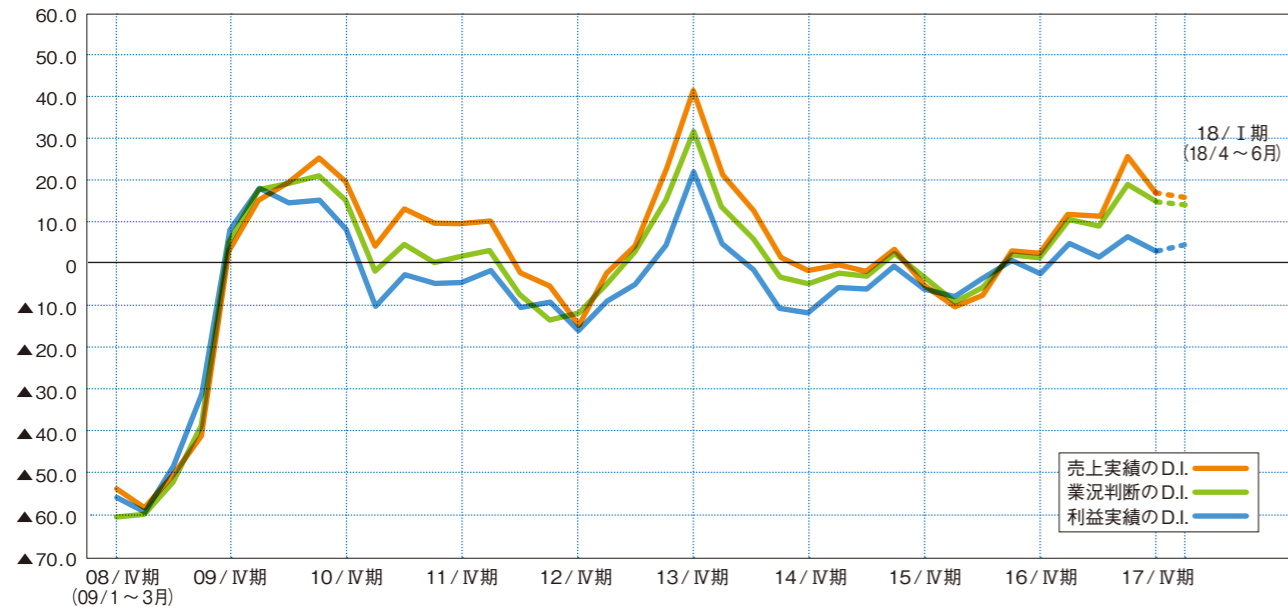
回 収 率 : 61.3%

◇本発表に関するお問い合わせ先
事業支援部
福山 裕人
電 話 : 06-6459-1700
メー ル : pr@sbic-wj.co.jp

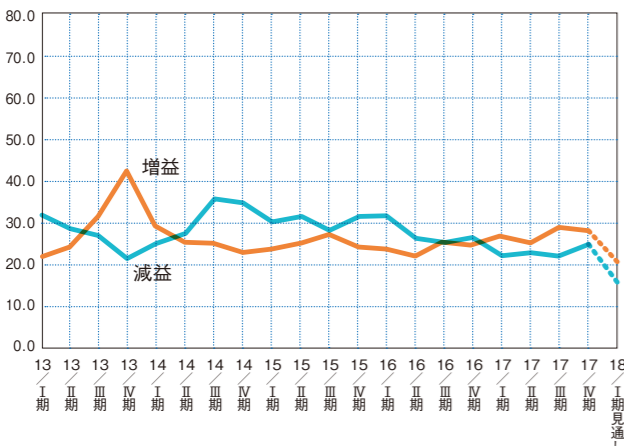
引き続き高水準ながら、悪化に転じる

投資先企業の2017年度第4四半期の景況アンケートによると、2018年1～3月期は売上実績、利益実績、業況判断実績の各D.I.は引き続きプラスを維持し高水準ながらも、悪化に転じた。

売上及び利益実績・業況判断のD.I. (前年同期比) の推移



利益実績の増減益割合 (前年同期比) の推移



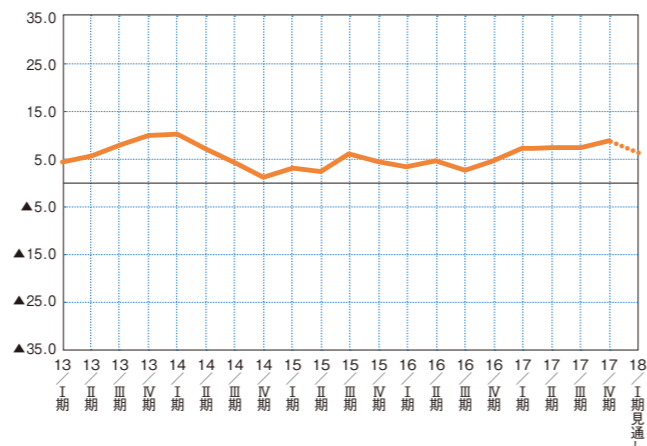
① 2018年1～3月期の売上実績D.I. (増収企業割合-減収企業割合)は前四半期の26.4から17.2へ、利益実績D.I. (増益企業割合-減益企業割合)は6.9から2.7へ、業況判断実績D.I. (好転企業割合-悪化企業割合)は19.8から15.2となった。売上実績・利益実績・業況判断実績D.I.は、プラスを維持し高水準ながらも、悪化に転じた。

② 利益実績D.I.を業種別推移表で見ると、2018年1～3月期ではマイナスを示しているのは5業種で、食料品・繊維についてはマイナスの状態が長く続いている。前四半期からプラスに転じた業種はなく、マイナスに転じたのは、化学、建設の2業種となった。

③ 2018年4～6月の見通しD.I.は、2018年1～3月期の売上実績D.I. 17.2から見通し16.8へ、利益実績D.I.は2.7から見通し4.4へ、業況判断D.I.は15.2から見通し14.2へと、利益実績は若干の改善、売上実績・業況判断は若干の悪化を見込んでいる。

利益実績の増減割合で見ると、増益を見通す企業が7.7ポイント減少し、減益を見通す企業も9.3ポイント減少しており、先行きについては、慎重な姿勢が続いている。

資金繰り実績のD.I. (前年同期比) の推移



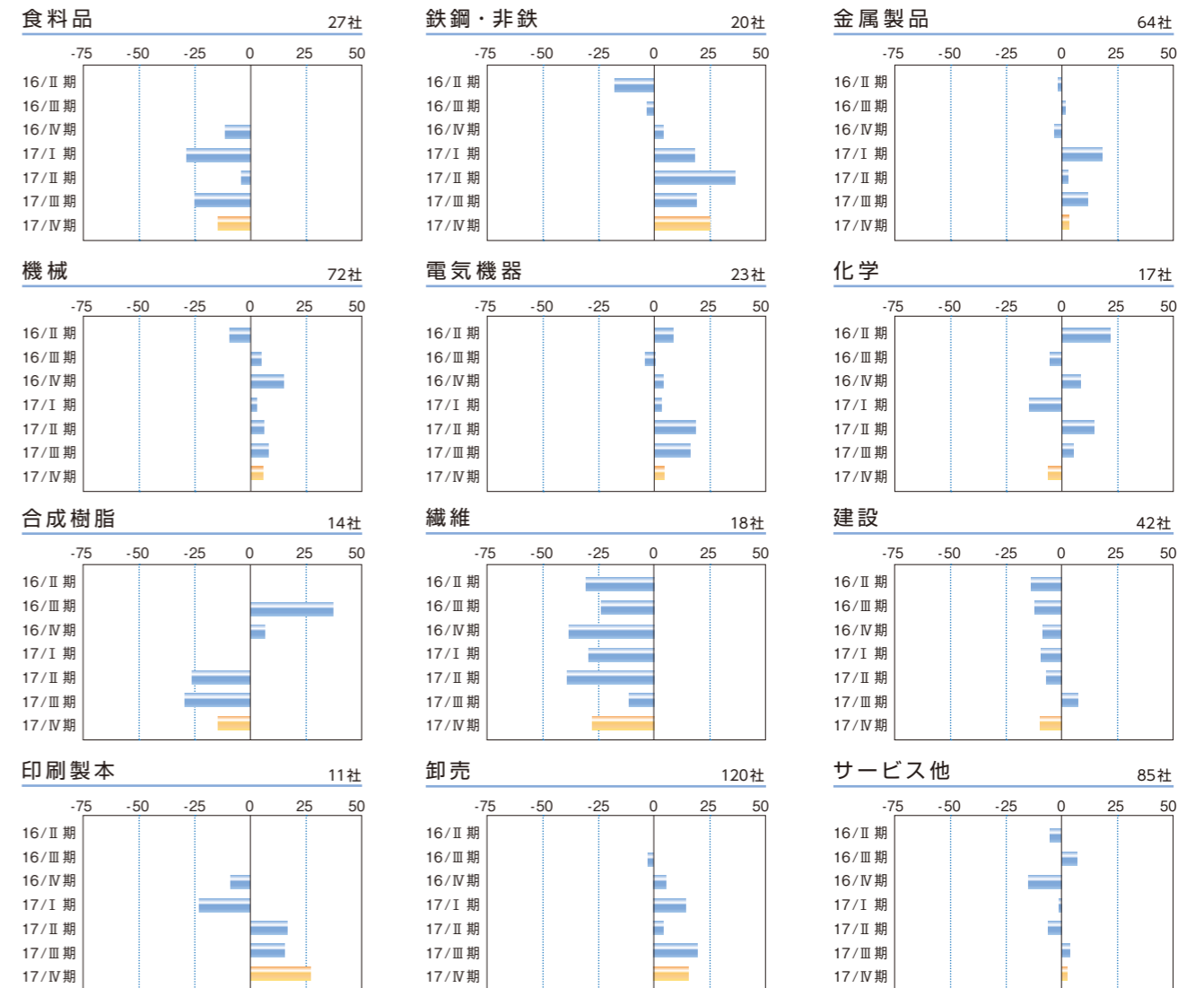
なお、3月調査の日銀短観では、資源価格上昇に伴う原料高が進む中、価格転嫁ができなかったことが影響し、大企業の製造業で業況判断指数が8四半期ぶりに悪化した。非製造業も深刻な人手不足の影響で6四半期ぶりに悪化した。中小企業の景況感については、ほぼ横這いとなっており、全体としては高水準が続いている。

先行きについては、米国が保護主義の姿勢を強めていることや、それに伴う円高などでより慎重な姿勢が表れており、5年超に及び景気回復の足踏みを懸念する声もある。

一方で、世界同時好況の恩恵もあり、足もとの事業環境は好調を維持しており、実体経済活動は国内外で回復が続いている。プラス面では、世界経済の拡大を背景とした堅調な外需、インパウンドも加わった消費を中心とする底堅い内需、マイナス面では、米国の保護主義や円高に加え、政府への不信感などがあげられる。また、ここにきて動き出した朝鮮半島情勢も気にかかるところとなっている。

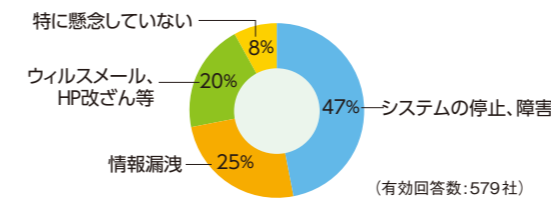
いずれにしても、マインド面も含め回復への持続性には慎重な見方が強まっていることもあり、景気の本質が鈍化する可能性が生じていることには注意が必要であろう。

主要業種別利益実績のD.I. (前年同期比) の推移

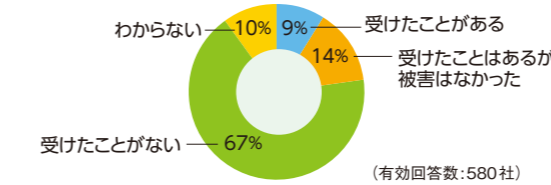


情報セキュリティ対策についてのアンケート結果

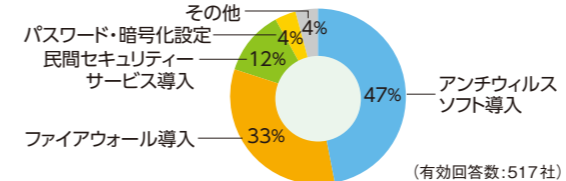
● ITの活用で、どのようなリスクを懸念しているか



● サイバー攻撃・被害を受けたことがあるか



● サイバー攻撃対策を実施しているか



企業におけるIT化の進展により、業務の効率化、サービスレベルの向上が図られている一方で、サイバー攻撃は日々発生し、情報漏洩等の被害も深刻なものとなっています。ターゲットは大企業だけでなく、中小企業にも広がっており、巧妙なサイバー攻撃では、中小企業のサーバーが攻撃の中継点(踏み台)に利用される場合もあります。そこでITの安全な活用に向け、情報セキュリティ対策の必要性がどの程度認識され、実施されているのかアンケートを行いました。

ITの活用でどのようなリスクを懸念しているかについては、「システムの停止、障害」47%、「情報漏洩」25%、「ウイルスメール、HP改ざん等」20%、「特に懸念していない」8%となりました。日常業務に直接支障をきたす「システムの停止、障害」を懸念する企業が約半数となりました。

サイバー攻撃・被害を受けたことがあるかについては、「受けたことがある」9%、「受けたことはあるが被害はなかった」14%、「受けたことがない」67%、「わからない」10%となりました。サイバー攻撃や被害を受けたことがない企業が約2/3を占めていますが、一方で「受けたことがある」「受けたことはあるが被害はなかった」を合わせると全体の約1/4が攻撃を受けていることとなります。

サイバー攻撃対策を実施しているかについては、「アンチウイルスソフト導入」47%、「ファイアウォール導入」33%、「民間セキュリティサービス導入」12%、「パスワード・暗号化設定」4%、「その他」4%の順となっています。何らかの対策を実施している企業は、9割以上になりますが、「民間セキュリティサービス導入」など専門業者を利用するところはまだ少ないのが現状のようです。ご協力ありがとうございました。